

公共施設FM研究部会

板橋区の 公共施設マネジメントの 取り組みについて



千葉 亨二

ちば ぎょうじ

板橋区施設経営課長

教育施設担当課長

教育委員会副参事

認定ファシリティマネジャー

板橋区の現状と取り組みの背景

板橋区では、将来的な人口構成や財政状況の変化、施設の老朽化に伴うライフサイクルコスト予測による経費負担増があり、現在と同数・同規模の施設を維持し続けることは困難である。また、総量の抑制は不可避であると考え2011年に公共施設マネジメントの検討をスタートしました。基本方針「基本方針及び施設白書」として「マスタープラン(2013年)」、施設のあり方や整備計画として「個別整備計画(2015年)」を策定し、区の総合計画と一体的に「公共施設等ベースプラン(2019年)」として改訂したところです。今回は、板橋区の取り組みの中で、特徴的なものをご紹介します。

総合計画と一体的な施設計画

施設を単に建物としてではなく、住民福祉の向上に資するサービスを提供する資源のひとつとして捉え、行政サービスや施設のあり方、地域特性と区全体の視点を踏まえた、適切な配置・統廃合なども含めて検討を重ねています。施設の配置や総量等を最適化するため、「公共施設等ベースプラン」では更新時期を迎える公共施設を示し、あり方を検討する施設については行財政改革を担う「経営革新計画」に位置付けて検討し、更新スケジュールを「実施計画」へ反映します。

庁内連携の取り組み(図表1)

安心・安全な施設の維持保全については、限られた財源の中で効率的かつ効果的に進めるため、以下のよ

うに庁内で連携して着実に取り組んでいます。

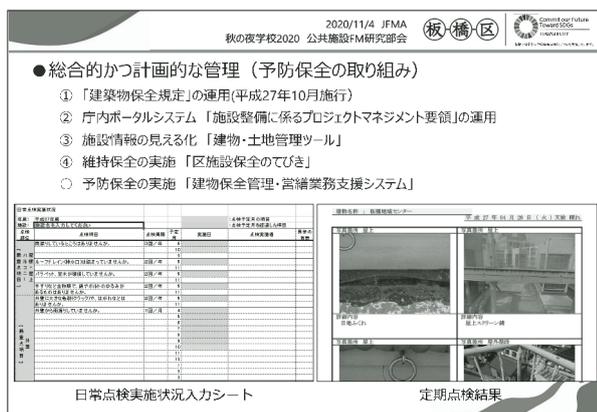
- ①「建築物保全規程」に基づく、長寿命化を目指した建築物等の適正な保全
- ②「施設整備に係るプロジェクトマネジメント要領」に基づく施設整備における業務プロセスの標準化・見える化
- ③庁内ポータルシステムを活用した保守点検結果、工事履歴等の施設情報の集約化・共有
- ④「区施設保全のてびき」に基づく、施設所管課による法定点検や日常点検の実施

維持改修経費の順位づけ(図表2)

維持改修経費の予算要求にあたって、施設経営課が全ての案件について優先順位を整理しています。具体的には、保守点検結果や耐用年数などを基に、緊急度や重要度、構造躯体への影響、CO₂の削減などの視点から指数化し、行政計画における位置づけ案件を考慮し優先順位を整理しています。この取り組みを開始してから、突発的な緊急工事が減少するなど一定の成果があがったと考えています。

安心安全な公共施設づくり

区では、ファシリティマネジメントの観点から、総合計画と一体的に、計画的な施設整備を進めています。また、環境配慮やユニバーサルデザインの考え方、改築・長寿命化改修・維持改修に係る優先順位を判断する基準等を全庁的に共有し、組織横断的に取り組むことで、適切なコスト管理による安心・安全な公共施設づくりを推進していきます。◀



図表1 個別整備計画の策定



図表2 計画策定後の取り組み